



編集・発行

夙川地域

コミュニティ協議会



大谷町親和会はJR西日本社宅内の自治会で、大谷町の中に位置しています。

役員は毎年変わりますが、地蔵盆などを実施したり、夙川地域の他団体の活動にも参加しています。



団結力を持って

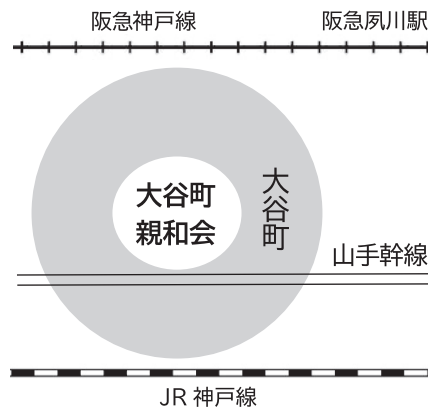
大谷町親和会

大谷町親和会自治会 会長 藤原史弥

当自治会は、JR西日本大谷社宅に住む会員により構成されています。

地域の皆さまとのつながりを大事に考えて、コロナ禍で中止にしていた各種行事も徐々に復活していきたいと考えています。

今後もつながりのさらなる深度化を図り、地域間連携を密にしていきます。よろしくお願いします。



『宮っ子』にこんな懐かしい写真が

昭和58(1983)年秋



毎年行われていた社宅内の運動会

平成13(2001)年夏



地蔵尊盆踊りの太鼓の練習をする小学生たち。盛大な盆踊りでした



地蔵尊

親和会の中のさくら会のお父さん、お母さんたちが世話をしています



夙川留守家庭児童育成センター 放課後に集まれ



夙川留守家庭児童育成センター
(運動場との間に防球ネット)

夙川小学校の運動場東側に「西宮市立夙川留守家庭児童育成センター」があり、現在1年生から4年生まで約140人の児童が利用しています。令和元年に建て替えられた2階建ての建物の1階には第1育成センターと第2育成センターが、2階には第3育成センターと第4育成センター、と四つのスペースに分かれ、それぞれに出入り口、手洗い場、トイレが設置されています。各センターの定員は40人で、複数の指導員と放課後を過ごしています。

平日は下校時から17時まで、

延長は19時まで。

土曜日は朝8時から17時まで利用でき、夏休み

など長期の休みも開所され、遠

足なども計画されます。

学年それぞれ

の授業が終わると、児童たちはセンターにやってきます。

指導員のもとに駆け寄って話し始める子、ランドセルの中の物を全て出してから宿題を

机で始める子、本を熱中して読み始める子…。子どもたち

はマイペースでいつもの生活をしているようです。育成センターを利用した後、スポーツ系や学習塾などの習い事に通っている子どもたちもいます。

西宮市が設置し、指定管理者として「企業組合 労協センター事業団」が運営しています。

スポーツしようよ!
夙川スポーツクラブZ1
~お誘い~
パート4

問い合わせ 奥園
TEL 42・8511

小学生対象 サッカー部

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、ほぼ通常活動が行われるようになってきました。

週末や祝日に、全学年が勝利を目指して、楽しく元気に



西宮浜総合公園にて

小学生対象 卓球部

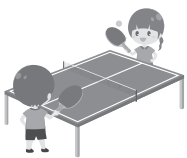
活動中です。選手、保護者、指導者、全員で力を合わせて目標に向かって励んでいます。子どもたちの成長を促し、今後も活動していきます。

第1・3・5日曜日の13時、夙川小学校体育館で練習しています。現在、部員が8人、コーチが4人です。基本的なラリーやフットワーク

で体を動かし、子どもたちに楽しみながら卓球を好きになっ

てもらえるよう意識して練習しています。

少人数、かつ初心者も多いの



小学生対象 バレーボール部

で、初めての子どもさんでも気兼ねなく入部できます。

1〜6年生の男女一緒に、毎週日曜日と第2・4土曜日に夙川小学校体育館で練習しています。

体を動かすことから技術の習得、季節ごとにある大会で勝つ喜びや負ける悔しさを知り、友達とコミュニケーションを取ることで学年に関係なく仲良く協力していくことを学びます。

運動が苦手でも、友達とボールで遊んでいるうちに好きになってしまふ、そんなバレーボールを体験してみませんか。



育成センターの時間割

3:00 学習
3:30 おやつ
4:00 自由遊び
4:45 帰りの会
5:00 降所・延長保育



楽しく学ぶ
夙川公民館
地域学習推進員会の

講座

防災講座

阪神・淡路大震災を伝える講座が、昨年11月26日に行われ、元NHKアナウンサーで、現在は大阪芸術大学教授の住田功一さんに、震災取材について聞きました。

神戸市出身で高校、大学を地元で過ごし、東京勤務だった震災時には、たまたま神戸の自宅で被災しました。発生直後から取材を続けた住田さんは、その数年後から長く大阪局勤務を続け、震災報道を

担当してきました。退局後は大学で教える傍ら、震災報道に関する活動を続けています。今回は、取材初期の模様から夙川付近の様子、現在の大学生が慰霊に向き合う姿を語りました。

愛あるクリスマスカードを

絵手紙で

はがきに絵を描いて、文字で気持ちを届ける「絵手紙」講座を昨年12月14日に開催しました。講師は藤本直美（つくらぶひろば）さんです。

前回（10月）はキノコを描きましたが、今回はクリスマスにちなんだ作品です。材料費500円を払えば、筆や絵の具は必要なし。参加

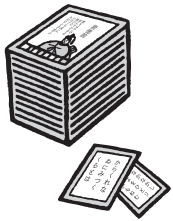
者16人は、用意されたサンタの絵や自らが持ち込んだアイテムを前に、思い思いに絵筆を動かしました。

最後に、全員が自分の作品を前列のボードに置いて記念撮影し、楽しいひとときでした。

百人一首の楽しみ

「光琳かるた」を使って、歌人のエピソードや人間関係を木林美紀代さん（神原古典文学読書会主宰）が解説しました。

13世紀初め、藤原定家によって選ばれた小倉百人一首が「カルタ」の形になったのは、室町時代にポルトガルからCartaが入ってから。光琳かるたは江戸中期の尾形光琳による美しい作品です。歌合に際した歌人たちの様子（壬生忠見と平兼盛）や、朝廷の位階（上級貴族と下級貴族）など、興味深いエピソードを聞きました。



HAPPY

いつも元気なビーバー隊
みんなで仲良く活動中!

昨年12月10日、「わがまちクリーン大作戦」の後、ボーイスカウトビーバー隊は毎年恒例のクリスマスリース作りをしました。つるのリースに葉っぱや松ぼっくり、ビーズなどの飾りを付けて、それぞれすてきなリースができました。



クリスマスリース製作中

17日は、阪急夙川駅前でもユニセフ募金活動をしました。



募金お願いします～!

寒い日でしたが、駅前の道行く人に大きな声をかけることができました。その後、夙川西市民館でクリスマスケーキを作りました。



それぞれのケーキを作るビーバー隊

「ポッキーケーキ」の材料を用意したリーダーは「スポンジ台にクリームを付けて、周りにポッキーを並べるはずが、さすがのビーバー隊。斜め上いく発想で、予想だにできなかったセンス抜群のケーキができました」と笑って話しました。



おいしいケーキ
できました!

3・4月の講座予定
みんなで歌いましょう
講師 喜多あゆみ
3月3日(日) 14:00~15:30
夙川公民館ホール 無料
定員190人(先着順)

浪花女的読書案内(その3)
講師 石野伸子
4月12日(金) 13:30~15:00
第2集会室 無料
定員40人 要事前申し込み

夙川客席
出演 笑福亭純瓶 瓶生
4月28日(日) 14:00~15:30
夙川公民館ホール 無料
定員190人(先着順)

詳しい内容は回覧、掲示ポスター、西宮市HP(公民館イベント)をご覧ください
内容・日程が変更になる場合があります
事前にご確認ください
問い合わせ 夙川公民館 TEL33-1928

冬の行事

夙川地区青少年愛護協議会主催



レッツ トライ

クッキング



関西料理研究所代表の柏木直樹先生を講師に迎え、昨年11月20日に夙川小学校家庭科室で「おにぎりを作ってみななで食べよう!!」が行われました。

子どもたちは、用意された鮭や昆布などの具を乗せたり、包んだりして好きなおにぎりを作りました。丸いおにぎりに切ったのりをはり付け、「サッカーボールできたよ」と言う子もいました。おみそは鶏のから揚げに、卵焼き、トマトとフルーツ。

今回は、柏木先生から日本のお米の特徴、お弁当と駅弁、



マイおにぎり製作中

外国のお弁当などの話があり、みんな熱心に聞いていました。

地域団体のつながりで

年末もちつき大会



4年ぶりの「もちつき大会」が昨年12月3日、夙川小学校で開催されました。用意されたもち米は60kg。地域の子どもたちや家族連れがたくさん訪れました。前日にもち米を洗い、当日ついた餅をちぎって丸め、味をつけて来場者に配ります。



4年ぶりでも慣れたものです

主催は夙川地区青少年愛護協議会。協力団体は夙寿会、夙川育成センター父母の会、夙川小学校PTA、大谷町親和会さくら会、夙川地区民生委

員児童委員協議会、ボーイスカウトです。

夙川育成センター父母の会の女性は「お母さんたちとの交流は少なかつたのですが、今日は、さまざまな話をすることができました。何より子どもたちの楽しそうな笑顔が見られ、このような会が続くためにもボランティアの必要性を周りにも伝えたいです」と慣れた手つきで餅を丸めながら話していました。

大谷町親和会さくら会の男性は「初めて餅つきをします」と杵きねを手にし、それを餅つき

熟練者の夙寿会会長が見守るといふほほえましい様子もありました。

たこ作り

たこあげ大会



毎年恒例の「たこ作り たこあげ大会」が、昨年12月9日に夙川小学校で開催。大人と子どもを合わせて約50人が参加しました。

ボーイスカウト西宮第3団リーダーに教わりながらピニールにマジックペンで絵を描き、竹ひごとたこ糸を付けたら「ぐにゃぐにゃたこ」の完成

です。

当日はとてもいい天気でしたが、風が弱くて高くは揚がりませんでした。それでも子どもたちはグラウンドを走り回って楽しそうでした。「今日は走るから、半袖で来たんだよ」と笑う子もいました。

夙川自治会主催

クリスマスツリー

点灯式

市長も参加

夙川の冬の風物詩として定着したクリスマスツリーの点灯式が、昨年12月2日の夕刻に阪急夙川駅前ロータリーで開催されました。

共催者の西宮夙川ロータリークラブ、夙川グリーンタウン商店街振興組合の関係者、そして、石井登志郎西宮市長



昨年のクリスマスツリー



グラウンドを走り回る子どもたち



指揮に合わせて歌う子どもたち

も参加して、全員のカウントダウンでツリーに明かりがともされました。

戦後にツリーが飾られるきっかけとなった話を聞き、集まった約20人の子どもたちが『赤鼻のトナカイ』『きよしこの夜』を披露。かわいらしい歌声とクリスマスツリーに、夙川駅前がクリスマススムードに包まれました。